日本スポーツ精神医学会　スポーツ精神医学　投稿規程　（2026 年 8 月 28 日 一部改正※※）

1. 本誌は、スポーツ精神医学およびその周辺領域に関する学術論文（原著）、症例報告、総説、資料の投稿を受け付ける。

2. すべての投稿において、筆頭著者は日本スポーツ精神医学会会員に限り、他誌へ未発表かつ掲載予定がなく二重投稿とならないもののみ受け付ける。ただし、以下のような場合は二重投稿と扱わないものとする。

* 投稿論文の一部あるいは全部が、学会もしくは研究会の要旨集・抄録集のような媒体に掲載されているが、それが当該学会や研究会で「論文」と見なされていない場合。
* 学士・修士・博士論文の一部もしくは全部であり、まだ出版・公表されていない場合。ただし、大学など電子リポジトリにおいて掲載・公表されている場合は例外とせず、二重投稿扱いとする。

3. 原稿の採否は、編集委員会の審査によって決定される。

4. 倫理的配慮

人間または動物を対象とした研究は、ヘルシンキ宣言その他の関連する倫理指針に従って実施し、その旨を論文中に記載する。実験研究、臨床研究、観察研究、調査研究については、所属機関等の倫理委員会またはこれに準ずる審査機関の承認を受け、承認を得た機関名を論文中に記載する。

研究対象者からの同意取得については、その方法（文書、口頭、Web 上の同意、オプトアウト等）を論文中に明記する。後方視的研究その他、文書同意を取得しない研究では、その理由および適切な倫理的配慮を行った旨を記載する。

症例報告では、対象症例本人から口頭および文書で公表同意を得て、その旨を明示する。対象症例が未成年の場合は、本人に加えて保護者からも同意を得ることとする。本人からの同意取得が困難な場合は、その理由および代諾者等から同意を得た旨、または倫理委員会の承認を得た旨を記載する。

個人が特定され得る情報の取り扱いについては、匿名化その他の方法により、プライバシー保護に十分配慮した旨を記載する。

動物を対象とした研究では、所属機関等の動物実験委員会その他これに準ずる審査機関の承認を受け、関連法規および機関内規程に従って実施した旨を論文中に記載する。

記載例として以下を示す。

記載例）

1）前向き観察研究・介入研究

本研究は〇〇大学医学部倫理委員会の承認を得て実施した。研究はヘルシンキ宣言に基づいて実施した。事前に参加者には研究目的、参加は自由意思によること、匿名性の確保について説明文書及び口頭で説明を行い、文書による同意を取得した。

2）アンケート調査

本研究は〇〇大学倫理委員会の承認を得て実施した。対象者には研究目的、参加は自由意思によること、匿名性の確保について説明し、質問紙への回答をもって研究参加への同意が得られたものとした。

別例（Web 調査）

本研究は〇〇大学倫理委員会の承認を得て実施した。Web 画面上で研究内容の説明を表示し、同意欄へのチェックをもって参加同意を得た。

3）後方視的研究・診療録調査

本研究は〇〇病院倫理委員会の承認を得て実施した。既存の診療録情報を用いた後方視的研究であるため、文書による同意取得は行わず、研究内容を施設ホームページ上で公開し、オプトアウトの機会を保障した。

別例（同意免除）

本研究は〇〇大学倫理委員会の承認を得て実施した。既存情報のみを用いる後方視的研究であり、研究対象者への侵襲や不利益が極めて小さいため、個別同意取得は免除された。

4）症例報告（成人）

本症例報告の公表について、本人から文書および口頭で同意を得た。個人が特定されないよう十分に配慮した。

5）症例報告（未成年）

本症例報告の公表について、本人および保護者から文書および口頭で同意を得た。個人が特定されないよう十分に配慮した。

6）動物実験

本研究は〇〇大学動物実験委員会の承認を得て実施した。動物実験は関連法規および機関の規程に従って実施した。

5. 投稿にあたっては、原稿をマイクロソフトワードで閲覧可能なファイル形式で作成する。

6. 原稿には、表紙冒頭に総説、原著、症例報告、資料の区別を明記する。

7. 原著論文の形式は、なるべく緒言、研究対象および研究方法、結果、考察、結論、引用文献の順序を踏むようにする。

8. 邦文論文の場合、1 ページ目の論文区別の後に、表題、著者の氏名・所属の順で書き、

それぞれに英文を付ける。2 ページ目に論文の要旨（400 字以内）と英文抄録（200 語以内）を付け、論文内容を表す索引用の Keywords を日本語（その英語訳）で 5 個以内付ける。また、3 ページ目から本文を書く。原稿にはページ数をふる。

9. 英文論文も受け付ける。この場合、英文要旨（200 語以内）と Keywords（5 個以内）をつける。希望する場合は 400 字程度の日本語抄録を付けることができる。

10. 原著論文については印刷の段階で組み頁で 8 頁（12,000 字程度）以内については無料とし、それを越す場合は有料掲載（1 頁につき 5000 円の負担）とする。図、表も組み頁で算出する。ただし、編集委員会より依頼した寄稿論文についてはこの限りではない。

11. 図表は、必要なものを厳選し、いずれも 1 枚の用紙に 1 枚の図または表を書く。なお、本文原稿に、図表の挿入箇所を明示する。

12. 文献は、本文中に右肩上付き片括弧（例 1)）で引用し、原稿の終わりに著者名のアルファベット順に並べる。すでに出版された論文あるいは印刷中の論文のみ引用することができる。投稿中のもの等は本文中に(投稿中)等として表記し、引用文献のリストには含めない。雑誌名は略称でよいが、外国誌については Index Medicus による略名を用い、省略記号は付けない（記載例の参照のこと）。著者、編者または訳者が 4 名以上の場合、最初の 3 名まで記載し、そのほかは他（邦文）、et al.（欧文）と記載する。Web site の場合は、下記 5)に従い web site 運営母体、ページ名、トップページ題名、リンクアドレス、閲覧日を記載する。閲覧日には日本語サイトの場合は「確認」、英語サイトの場合は「access」と記載する。

［例］

1）Takagi S, Balu DT, Coyle JT. Factors regulating serine racemase and d-amino acid oxidase expression in the mouse striatum. Brain Res, 1751: 147202, 2021

2）Takagi S, Hori H, Yamaguchi T, et al. Motor Functional Characteristics in Attention-Deficit/Hyperactivity Disorder and Autism Spectrum Disorders: A Systematic Review. Neuropsychiatr Dis Treat, 9 : 1679-1695, 2022

3）Takagi S. Sports and epilepsy: A comprehensive review in the Japanese context. Sports Psychiatry, in press, 2023

4）Nieman DC. Effects of athletic endurance training on infection rates and immunity. In : Krieder RB, Fry AC, O'Toole ML, editors. Overtraining in sport. Champaign (IL) : Human Kinetics, 193–217, 1998

5）日本スポーツ精神医学会（2023）. 入会について. 日本スポーツ精神医学会 ＜https://www.sportspsychiatry.jp/blank-4＞2023 年 12 月 27 日確認

6）レムニック（2007）. 少年野球をめぐる諸問題 毎夕新聞 5 月 5 日 朝刊

7）藤野 和樹，木内 敦詞，八田 直紀，他．大学体育バドミントン授業受講者の主観的技能課題に基づくルーブリックが主観的恩恵に及ぼす効果．体育学研究 67 : 143-156, 2022
8）西多昌規．ドーピングと精神医学．日本スポーツ精神医学会（編）．スポーツ精神医学改訂第 2 版．東京：診断と治療社，41-45，2018

13. 掲載後の原稿（図表を含む）は、原則として返却しない。

14. 別刷は、50 部単位で実費とする。希望部数を、校正刷り返送時までに申し出ること。

15. 論文の掲載のための所定の費用（カラー写真など）は、著者負担とする。

16. 原稿の投稿は下記の 2 つの方法のどちらかで行う。
a. google フォームへの入力とファイルアップロード
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdtCRvceRlJEBbXWLOoAlQaWyHl_bl80jr8yWfTPP6cxVeVOQ/viewform?usp=header　から投稿する。
ホームページ上配布される「著者一覧」に著者全員の情報を記入して原稿とともにアップロードする。著者全員に投稿があったことを伝えるメールが配布され、異議なければ投稿に著者全員が同意したものとみなす。
b. 事務局業務委託先宛にメール添付送付。
メールの題名は「スポーツ精神医学雑誌論文投稿」として下記連絡先にメール添付で送付する。添付には下記配布書類を加える。
ホームページ上配布される①「著作権譲渡書」、④「投稿承諾書」は、署名の上そのスキャンファイルを添付する。②「二重投稿防止のためのチェックリスト」、③「論文投稿前チェックリスト」は記入し、ワードファイル形式で保存し添付する。

〒113–0032　東京都文京区弥生 2–4–16　学会センタービル 1 階
一般財団法人　学会誌刊行センター内　　日本スポーツ精神医学会　編集委員会
TEL : 03–3817–5821
FAX : 03–3817–5830
E-mail : jasp【アット】capj.or.jp　　※【アット】を@にしてご送信下さい。

※2019 年 8 月 31 日 一部改正
2. 二重投稿に関する規定を改定しました

※※2024 年 3 月 2 日 一部改正
複数の文言の修正
2.、16. 投稿方法に関する規定の改正
9. 英文抄録の文字数の改正
10. 著者負担額規定の改正

※※※2026 年 8 月 28 日 一部改正
4. 倫理的配慮の修正

※※※※2026 年 9 月 17 日 一部改正
16. 投稿方法の追加